

### 林野庁による「JAS無垢材の需給拡大の新構想」に対応 JAS機械等級区分構造用製材品の取り扱いを拡大 ～ 製材品流通事業および木造建築事業で展開 ～

#### ◆ ニュースポイント ◆

ナイス株式会社（社長：平田 恒一郎、本社：神奈川県横浜市）を中核とするナイスグループは、林野庁による「JAS無垢材活用事業者拡大事業」創設に向けた発表を受け、設計及び施工に携わる方々への対応を強化するため、品質や性能が明確で構造計算が可能な無垢材（丸太から切り出された角材）のJAS機械等級区分構造用製材品（以下、JAS無垢材）<sup>\*</sup>の取り扱いを拡大させる方針といたしましたのでお知らせします。

戦後の日本は荒廃森林（はげ山）が多く木は貴重な物でしたが、国の拡大造林政策による人工林育成が身を結び、現在の森林蓄積は約49億 $m^3$ に及ぶ潤沢な状況となっています。年間で約1億 $m^3$ （丸太ベースで約5,000万 $m^3$ ）成長しているにもかかわらず、用材としての使用量は2,200万 $m^3$ （丸太ベース）に留まっており、毎年の成長量の半分程度しか利用されていません。

持続可能な循環型社会の形成や気候変動の緩和、更には花粉発生量の減少に向け、より多くの木を伐って使って、新たな木を植えて育てるサイクルを促進することが重要な課題となっています。

ナイスグループは、製材品流通事業及び木造建築事業において、合法性や持続可能性が証明された合法木材や森林認証材に加えてJAS無垢材の取り扱いの拡充を図り、森林資源活用の促進を通じた森林・林業・木材産業の成長産業化に寄与してまいります。

#### <各事業における方針>

##### ① 製材品流通

当社グループでは、全国の製材事業者様との「多産地連携システム」による調達力と、日本最大規模の木材流通プラットフォームによるストック機能、建築物に必要な部材を適切に組み合わせるアッセンブル機能を生かし、国産材の利用促進に取り組んでおります。

2009年からは、国産材を活用した家づくりに取り組む工務店様やビルダー様に対し、柱や土台など主要構造材にJAS無垢材を用いた住宅1棟分の構造用木材をパッケージ化した提案を行ってまいりました。

今後は、製材JAS認定工場との連携を強化しつつ、JAS無垢材のストック量の拡大と常時取り扱いを図り、住宅分野並びに木材利用の促進が見込まれる住宅以外の建築分野に向けて、安定した供給体制の強化を図ってまいります。



多産地連携システムのイメージ



JAS無垢材による構造躯体モデル

## ② 木造建築

弊社グループでは、住宅以外の建築物における木材の利用拡大に向け、長年積み重ねてきた木材流通の機能に一戸建住宅からマンションまでを手掛けるノウハウを加え、鉄筋コンクリート造や鉄骨造をメインとしてきた建設会社や設計事務所に対して木造化・木質化に関する設計から施工に至るトータルソリューションを提供し、サポートしています。

これまでに、学校や園舎といった教育施設をはじめ、医療施設、高齢者施設、商業施設など、様々な用途や規模の建築物において、木を生かした設計や施工などを手掛けています。

2010年の「公共建築物等木材利用促進法」の施行により、公共および民間の様々な建築物で木材利用が進んでいます。

当社では製材品流通事業とのシナジーを發揮し、建築物の木造化の推進に向け、コスト低減に寄与できる規格寸法材をはじめとしたJAS無垢材の更なる利用促進に努めてまいります。



構造材の一部にJAS無垢材を用いたJR銚子駅舎  
(パース提供：JR東日本千葉支社)



ポーチ柱にJAS無垢材を用いた南三陸さんさん商店街  
(設計：隈研吾建築都市設計事務所)

## ※ JAS機械等級区分構造用製材とは

JAS（日本農林規格）では製材に係る規格を規定しており、国に登録された認定機関による審査を受け、認定された工場で生産されたJAS製材は、寸法や等級区分、含水率などの基準が設けられ、その品質表示が義務付けられています。このうち機械等級区分構造用製材とは、機械により木材の強度を示す指標であるヤング係数を測定し、その結果に基づいて区分されたもので、「E70」「E90」のように、構造計算で使用できる強度の表示がなされている人工乾燥材です。

この件に関するお問い合わせ先

ナイス株式会社 広報室 宮川 TEL：(045) 501-5048

〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル 8F